リーディングDXスクール事業 【実践事例】

幸手市立行幸小学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

令和の幸手スタンダード
授業５with GIGA より

心のスイッチ
- 学習ログの確認や映像提示で、意欲換気

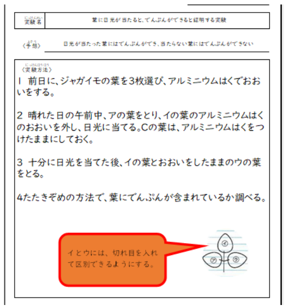
問題・課題を知る
- 子供一人一人の考えを収集、整理・分析　等

一人で考え、ともに深める
- 音声、画像、データ等を活用し考えを深める

まとめ
- カード等による考えの共有、まとめ

振り返り
- 学びを振り返り、自己の変容に気付く

児童が、学習方法を選択しながら、様々な学習段階で端末を活用し、他者と協働しながら、自らの学びを確かなものへ



実験名	葉に日光が当たると、でんぷんができると証明する実験

〈予想〉 日光が当たった葉にはでんぷんができ、当たらない葉にはでんぷんができない

〈実験方法〉

1 前日に、ジャガイモの葉を3枚選び、アルミニウムはくでおおいをする。

2 晴れた日の午前中、アの葉をとり、イの葉のアルミニウムはくのおおいを外し、日光に当てる。Cの葉は、アルミニウムはくをつけたままにしておく。

3 十分に日光を当てた後、イの葉とおおいをしたままのウの葉をとる。

4たたきぞめの方法で、葉にでんぷんが含まれているか調べる。

イとウには、切れ目を入れて区別できるようにする。

【実験の計画】
どのように実験をしていくかタブレット端末または、紙を選択し、自分の考えを示す。

【観察記録】
「雲と天気」の学習。タブレット端末のカメラで撮影した画像に時間や方角、観察して気付いたこと等をまとめる。

【学習のまとめ】
冬の生き物（動物・植物）について、学んだことをプレゼンテーション形式にまとめて発表する。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

幸手市立行幸小学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 児童が自律して学習していくために必要な情報活用能力の育成

<第５学年　総合的な学習の時間>

【育む力】
- ICTのよさや気を付けることを学び、よりよく使っていこうとする力
- 学習全般を通して、課題を自分ごととして捉えるとともに、周囲の環境と主体的に関わっていこうとする力

【活動概要】
- 指導者：幸手市教育委員会ICT専門員　大西 久雄 氏
- 学習の流れ：生成AIを含むICTに関する諸課題についての講義
  →児童が課題を設定・まとめ→地域・保護者へ発信

【実施時期】第２学期（９月）～第３学期（２月）

【学習上のKey Word】
- 科学技術　・生活　・うまく使う
- こんなことができたら　・ネットいじめ
- 今　・将来　・自分は　・みんなで

【導入端末及び生成AI 等】

タブレットPC（DynaBook K50 GIGAパック基本パッケージ）
タブレットペン（ESP-101-56C-6）
生成AI（Microsoft Copilot）

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

幸手市立行幸小学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 教員の働き方改革につなげる校務DXの推進

文書作成

【概要・工夫　等】

生成AIを活用し、保護者宛文書の素案を作成。作成する文書内容に応じて、プロンプト入力を実施

【取組による変容　等】

前年度に発出していない文書の場合、一から作成すると多くの時間を要するが、生成AI活用により、素案の修正を含め短時間で行うことができ、業務時間の短縮につながった。

学校行事に係る記録・反省整理

【概要・工夫　等】

Formsで集計したPTA親子活動や持久走記録会等の学校行事に係る反省等を生成AIにより要約・整理し、職員間で共有

【取組による変容　等】

反省点や改善点を分類するための作業時間が短縮され、早い時期に職員間で共有することができた。また、内容も端的で、わかりやすいものとなった。

保護者等へのアンケート集計

【概要・工夫　等】

Formsや児童が使用している端末（Teams）を活用し、保護者向けアンケートや調査を実施。

【取組による変容　等】

アンケート調査は、対象人数や質問数等の量により、集計に多くの時間を要するが、短時間で整理することができた。また、様々な調査で同様に実施することにより、入力方法に慣れ、回答状況（割合）も高くなってきた。